



新鹿会 Vol.7

Shinrokukai Report

令和4年12月発行

希望を持って
前へ

[連絡先] 鹿沼市千渡 2332
[TEL] 0289-60-6760
[編集責任者] 湯沢ひでゆき
※こちらまでご意見・ご感想をお寄せ下さい。



師走を迎え本年も皆様にたくさんの感謝をし一年を振り返る季節となりました。今年一年を振り返ってみますと、様々な出来事がありました。記憶に新しいのは、いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会ではないでしょうか。国体での様々な試みが今後のレガシーとして次の世代へと取り入れられていくことを期待しています。来年は県が成立して150周年を迎える記念すべき年です。G7サミットが日光市で開催となり栃木県にとっては飛躍の年となることでしょうか。輝かしい栃木の未来に向かって進んでいきたいと思います。

新鹿会代表 湯沢ひでゆき

〈新鹿会の主張〉

新鹿会は、5本の柱を軸に県政発展のため尽力して参ります。

- 1. 子育て環境の整備
- 2. 充実のシニア世代
- 3. 農林業の活性化
- 4. 県民生活の安心安全なまちづくり
- 5. 企業育成・雇用の確保

県民によりそった 施策にむけて

1 ヤングケアラーの支援に向けて

こんなことを
取り上げてきました

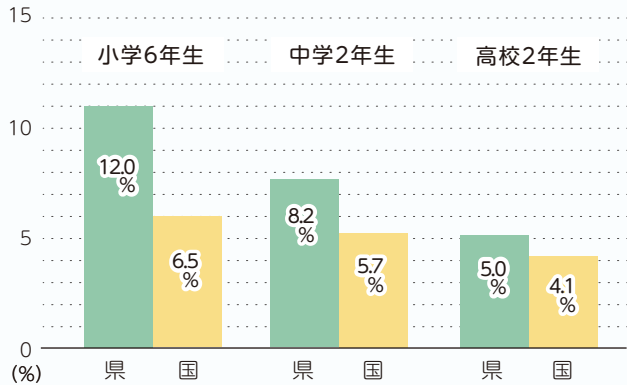
- ケアの負担を軽減できる様々な支援に繋げていく
- 調査で終わることなく具体的な取り組みを立ち上げる
- 全国調査の結果を踏まえ県はどのように支援していくか
- 悩みを打ち明けられる大人がいることを知ってほしい



近年ヤングケアラーという言葉を目にすることが多くなりました。私はこの問題を2年前から取り上げてきました。国ではケアラーに対する現状を把握するための全国調査を実施しています。本県においても初の調査が実施され「世話をし

ている家族がいる」と答えた児童生徒が全国を上回る結果となり、改めて家族の世話に追われて孤立してしまっている子供たちがいることも浮かび上がってきました。*左下図参照

お世話をしている家族の割合



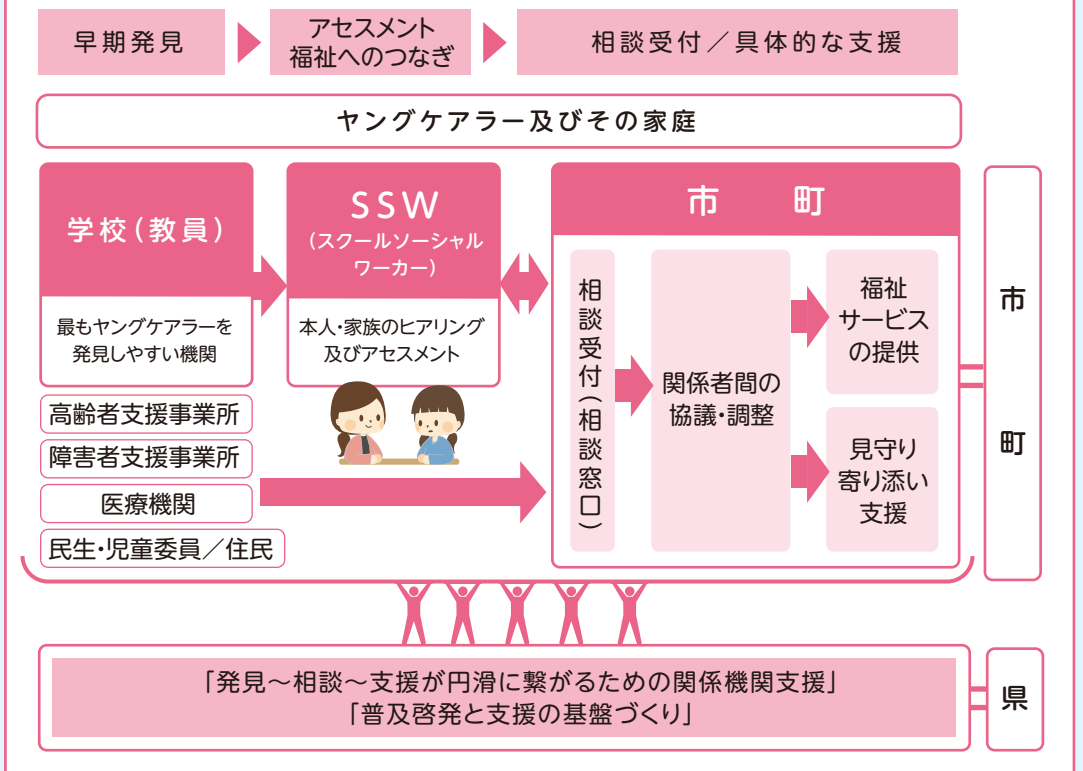
- ・お世話をしている家族が「いる」割合は、小学6年生で12.0%、中学2年生で8.2%、高校2年生で5.0%、となっている。
- ・国の調査と比較すると、お世話をしている家族が「いる」割合は、小学6年生、中学2年生、高校2年生で、県が国よりも高く、特に小学6年生は県が国よりも5.5ポイント高くなっている。



支援の窓口へ繋いでいくには、まずは悩みをきいてくれる、共感してくれる人があることに気づかせてあげることが大切なのではないかと思えます。子どもが子供らしくいられるためにケアラーの早期発見や把握をし、適切な支援体制をつくり上げることが重要な課題です。



ヤングケアラー支援体制のイメージ



2 子ども医療費の 窓口無償化の拡充

子ども医療費の窓口無償化は、県内自治体において格差が生じています。

医療費の心配をなくすことは、子育ての大きな支援となるため、平準化を図るよう議会に質問してきました。この件は、市長会・町長会からも

強い要望が出されておりました。

● 県では2023年4月から中学3年生までに引き上げることを検討しています。

● また鹿沼市では、来春より高校3年生まで対象年齢が上がります。



3

災害時における 要配慮者への支援

頻発する自然災害から
命を守るために

4

鳥獣害対策



こんなことを
取り上げてきました

- 災害時に要配慮者が共助や公助の支援を受けやすくするためには
- いざという時の支える体制と人づくり
- 行政による「公助」の取り組みを絶え間なく続けていくために

高齢者や身体の不自由な方、乳幼児の要配慮者は、災害時に情報把握や避難など、自助の活動を迅速かつ円滑に行うことが難しい立場にあります。よって、災害時における要配慮者の支援については、行政による公助の取り組みを絶え間なく続けていく必要があります。

そのため県では、個々の状況に合わせた事前の備えを十分に行うため、自治体へ要支援者名簿の作成を推進しており、避難支援の実効性を高めていくよう市町を支援していきます。

- 個別計画策定の必要性の周知
- 名簿公開の同意取得の促進など

災害時要配慮者

高齢者、障害者、病弱者、乳幼児その他の特に配慮を要する者

避難行動支援者

自ら避難することが困難で避難に支援を要する人々

支 避難支援等関係者 援

こんなことを
取り上げてきました

- 鳥獣害対策にどう向き合うか
- 肌感覚では減少していない
- 担い手不足等の課題解決に向けて

合わせて野生動物の増加によって近年ヤマビルの生息範囲が広がり、ヤマビルは野生動物に寄生して生息域を拡大させることから、鳥獣害対策を行うことがヤマビル被害の防止にも繋がります。県では、本年度ヤマビル対策マニュアルについてホームページで公開しています。



ヤマビル対策
マニュアルは
こちらから▶



いちご一会 とちぎ国体 いちご一会 とちぎ大会 「夢を感動へ感動を未来へ」 選手の皆さん夢と感動をありがとう

とちぎ国体の総合成績は2位。
とちぎ大会では前回の大会を上回り獲得メダル最多の成績となりました。次回開催地の鹿児島県へバトンを渡すことができました。



2022.9.25 開通 古峯原宮通り(千渡東工区) 一部開通

鹿沼と宇都宮を結ぶのどかな丘陵や田園風景が広がる通称【鹿沼街道】はとても気持ちよく走ることのできる街道です。途中拡張工事が進み通勤通学等の日常生活を支えるため、より安全に通行できるよう改善されつつある街道です。心が和み♡気持ちリセットされる♡素敵な街道です。一日も早い全線開通が待たれます。

G7サミット日光市に決定

G7広島サミットにおける男女共同参画・女性活躍担当大臣会合が、令和5(2023)年6月24日、25日に栃木県日光市で開催されます。本県としては、政府等が開催する国際会議の開催地となるのは初めてのこととなります。



南摩ダム

2024年度末に完成予定の南摩ダムは、現在左岸側のダムサイド展望広場から壮大な建設中のダムを見学することができます。ダムの完成と共に、周辺にはレクリエーション施設「水と緑の南摩の里」もオープン予定です。ダムの湖上をワイヤーロープで空中滑走するジップラインや森林アスレチックなど豊かな自然を生かした



南摩ダム完成予想図

イメージ図

癒し 遊び 学び 集う

をコンセプトとした総合施設です。
鹿沼市の話題のスポットになるはず♪♪♪
待ち遠しいですね♡

編集後記

会報誌の作成も今号で7回目となりました。これまでの会報誌発刊にあたりたくさんの方々の笑顔に支えられたことに感謝申し上げます。華やかなChristmasイルミネーションが街を彩る季節…。2022年もあとわずかですね。これから寒さも一段と厳しくなります。引き続き感染対策を心掛け2023年も皆様のたくさんの笑顔に会えることを楽しみにしております。今号も最後までお読みいただき、ありがとうございました。